

6年 国語 「この絵、私はこう見る」

タブレット（一人に一台→グループに一台）



単元のめあて 表現の効果を確かめたり工夫したりして書くことができるようにする。

学習の流れ ※赤字 タブレット活用時間

- ①絵から読み取ったことや感じたことを伝える学習の見通しをもつ。
- ②絵を見て読み取ったことや感じたことを書き出す。
- ③表現に気を付けて自分の絵の見方を文章に表す。
- ④書いたものを読み合って感想が交流する。
- ⑤表現の工夫ができたか振り返る。

☆タブレット活用☆

- ・一人一台ロイロノートスクールを使い、教科書の絵の細部をしっかりと観る。
- ・絵から読み取ったことや感じたことを、友達と交流する。
- ・絵から読み取った「事実」と自分が感じた「感想」を区別して文章を書く。

☆タブレット活用のメリット☆

- ・教科書に提示されている絵を観ることについてのメリットは以下の通りである。
 - ⇒拡大することによって、筆者の細部にわたる工夫について多くの気付きがある。
 - ⇒絵の一部分に着目できるため、その部分についてぶれることなく文章に表すことができる。
 - ⇒友達と交流する際にも、自分の着目点をはっきりさせて説明をすることができる。
 - ⇒図工科の鑑賞授業「アートカルタを楽しもう」などとリンクさせることができる。